



ことばが気になるのですが・・・スムーズに話げできません。(3歳児のお母さんより)

しゃべり方がたどたどしかったり、考えを早く話せないときに注意したり、先回りして助言したりするとことばを過度に意識する結果、どもってしまうこともあります。

子どもの、思うがままにしゃべらせてあげることが大切です。また生活の中で、お家の方がゆったりした気持ちで受け止め、子どものいうことをじっくり聞いてあげるようにしましょう。

吃音は、ことばの始めを繰り返す、最初の音が出にくい、そしてある音を引きのばすなどの症状がみられます。3～4歳ぐらいになっておこる「吃音」はことばの発達上、不安定な状態としておこるもので生理的な吃音とも言われています。新学期、新学年には吃音の症状が増えますが、時間とともに軽減することが多いです。そのままにしてあまり神経質にならないほうが自然に治ることが多いと思います。

ことば使いが悪いのですが・・・

使ってみたい時期やそのことばに興味や関心があって周りの子の言っていることを真似たり、大人やみんなの反応を楽しんでいる時は、叱ったり禁止したりするより、さらっと軽く受け流して他の遊びに関心を向けるといいと思います。

環境の中でよく聞いている言葉は、きちんとした言葉使いで返していくことが大切です。言葉の使い方がわからない時はその場に合う言葉使いやお友達と遊ぶ方法を大人も一緒に遊びながら伝えていきましょう。